

みんなのページ!

●みんなで575コーナー

応募された作品の中から、編集部で季節感やユーモアなどを基準に選考し、20作品を掲載します。

コロナ禍で たくさん知った カタカナ語
 フードロス 造ってうまし 酒の友
 霜おりて 美味しさ増すや ネギ畑
 青空に ソバの花咲く 秋景色
 朝霧や 湖舟に誰ぞ 糸垂れり
 名に聞こゆ 畑の棚田に 霜柱
 本年の 宿題持ち越し 新年に
 公園の松 胴巻締めて 年を越す
 年の暮れ けがれとコロナを 大祓い
 待ったなし 終活期限の 八〇才
 さつまいも どんなスイーツ つくろかな
 老夫婦 あれなそれなで 年の暮れ
 弟の かわいい寝顔 癒される
 優しげに 光る師走の 夕月夜
 つるし柿 今日も小鳥が やって来た
 行火抱き 過ごせし日々を 思い出す
 マスクかけ UVカットで 美肌顔
 認知症 ならぬ予防に 575
 時雨日と 心はいそぐ 大根干し
 来年は 良き年願う 年の暮

丸岡亜希子(新・藁園)
 梅村 保次(安・四津川)
 円水 静枝(マ・山中)
 原田 佳和(今・桂)
 前川 安正(新・太田)
 中野 正(安・田中)
 水野 初美(マ・知内)
 山本喜代治(安・長尾)
 西村 忠員(高・押戸)
 高澤 芳枝(今・松陽台)
 内藤すが子(今・今津)
 久保 俊明(高・押戸)
 藤橋 小梅(今・名小路)
 坂口その江(マ・知内)
 早田 弘子(今・今津)
 駒井 正一(安・北船木)
 林 澄江(高・鴨)
 寺井きみえ(マ・蛭口)
 松田 節子(新・新庄)
 岡田 芳子(マ・沢)

☎ 市民協働課 ☎ (25) 8526

たかしまLIFE!!

たかしまへ移住(1・J・Uターン)された方に、インタビュー!

わたし流、 やさしまの暮らし。

「ほっとできる場所」
西野 祐輔 さん ご一家



ゆったりとした時間を
感じる日々

高島の知人の農地に妻が10年ほど前から通っており、一緒に通うようになりました。以前から田舎暮らしへの憧れもあり、高島の町並みがしっくりと感じ、「ここなら」と考え始めたところ、空き家が見つかるなどタイミングに恵まれて移住を決断しました。事前に自治会長さんから地域の話聞いたことで、肩の力も程よく抜けました。また、近隣の方々が気さくに「何でも言うてや」と声を掛けてくださり、とても嬉しく思っています。実は最近、些細な口喧嘩の回数も減りました。時間がゆったり流れる空気感が良い影響になっていると思います。これからは、家の前を流れる川の水の音を聞きながらのんびりとした暮らしを楽しみたいです。

☎ 地域包括支援課 (地域包括支援センター) ☎ (25) 8150 FAX (25) 8054

あんしん♡元気生活

「聴覚もるい」を 開催しました



参加者の声

地域でサロンを運営しているが、誰もが安心して参加できるように工夫していきたい。

今後もこのような講演会などを開催する予定です。



参加者の声

妻を介護しているが、一人でがんばらず誰かを頼ることが大事だと分かった。

10月24日(日)安曇川公民館で「高島まるごと元気まつり」を開催しました。
 ▼寸劇「認知症 みんなの笑顔で支えよう」
 キャラバンメイトと一緒に「認知症の方やそのご家族を地域で支えるとは」をテーマに寸劇をしました。
 会場の皆さんと一緒に認知症予防体操も行いました。
 ▼在宅療養講演会
 「妻が認知症になった」妻を8年介護して〜
 梅本高男さん(認知症の人と家族の会 滋賀県支部副代表)から介護の大変さや、一人で抱え込むのではなく、地域の人たちとつながっていくことの大切さを男性介護者の立場から話していただきました。

【郵便】〒520-1592 高島市新旭町北畑565番地 高島市企画広報課あて
 【メール】 kikaku@city.takashima.lg.jp
 ①住所②氏名③電話番号④コーナー名⑤作品または意見・感想を記載してください。
 【留意事項】▶応募は一人一点▶投稿物は返却不可▶添削有▶市民の方対象▶著作権など第三者の権利やプライバシーを侵害していないもの

▼次回締切 12月27日(月)必着
 ▼掲載月 2月号

●写真/イラスト/感想コーナー

広報誌に写真・イラストを掲載しませんか? 広報誌への感想をお聞かせください。

スマートフォンや携帯電話などからの応募も大歓迎! また、市ホームページではカラーで掲載!



「彼岸花」
田んぼの畦道に咲く赤い花「曼珠沙華」。
四季を感じます。
撮影/北川民子(高・鴨)



「江若鉄道の写真」
水尾駅。鴨にあった駅です。今なら撮鉄の絶好の撮影スポット
撮影/淵田晃
投稿/淵田俊一(安・田中)